

はこの年5月3日に没しているのです、同院のものかも知れない。

〔丹波国後河庄庄官百姓等申状〕東大寺領の丹波国後河庄（現、兵庫県多紀郡篠山町内）の庄官・百姓たちが、大内裏を造営する造内裏役の賦課の免除を朝廷に求めるよう東大寺へ訴えた申状の一部である。免除が実現しないならば、百姓たちは逃散すると寺を脅しているのが目を引く。紙背を用いて東大寺鎮守八幡宮の復興を求めた衆徒の申状案が書かれている。

〔正和元年10月11日 沙門奘遍勘文〕正和元年（1312）、興福寺の僧奘遍が、大和国多武峯の大衆たちの横暴と同年に起こった興福寺との争いの経過を

まとめた長大な勘文である。初めの部分が失われているが、永保元年（1081）以来の出来事を叙述したとみられる。藤原鎌足の墓所として権勢を振るい、しばしば興福寺と事を構えた多武峯の姿を示す貴重な史料である。応長2年（1312）の奘遍自身の諷誦文と他家からの書状5通を継ぎ、紙背を利用して執筆している。

（付記）これらの文書の解読に際しては、早稲田大学教授瀬野精一郎氏、熊本大学教授工藤敬一氏、東京大学教授山口隼正氏、静岡大学教授湯之上隆氏、香川県歴史博物館準備室御厨義道氏、本学教授佐藤恒雄氏を始め多くの方々にお世話になった。記して謝意を表したい。

☆☆☆ 平成9年度一般公開行事を開催 ☆☆☆

図書館では第3回目の神原文庫の資料展「中世の武家文書」を平成9年11月2日（日）～9日（日）にかけて開催しました。

展示品は戦国大名毛利家家臣の三戸家文書を中心に、鎌倉時代から近世初頭にかけての古文書と錦絵・錦絵新聞を展示しました。11月4日（火）には、本学教育学部田中健二教授による「中世武家文書の世界」と題し、講演会も行われました。

今回の公開行事には前回は上回る来訪者があり盛況の内に無事終了しました。

また、アンケートにも「元就の書状がよかった」等様々な感想をたくさん頂きました。今後の参考にして行きたいと思っています。

公開行事へのご意見・ご質問は、附属図書館情報サービス係が窓口です。

phone number:087-836-1954(ダイヤルイン直通) 内線 2258, e-mail address: libsabis@ao.kagawa-u.ac.jp

